

第三十回

わか  
若樹会

ご挨拶

師走の候、皆様ご健勝のこととおよろこび申し上げます。

この度のコロナ禍では通常の開催が叶わず、本年第三十回の開催となりましたが、これまでの年月を振り返りますと若樹賞受賞者が現在の小唄界の中核を占めるほどとなりましたことは何よりと存じます。

この若樹会が若樹「糸の会」同様これからさらに次代を担う演奏家の研鑽目標の場となりますようご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

令和四年十二月吉日

公益 社団  
法人 日本小唄連盟

一部（糸の審査・太字）

一 初 雪

田家松 小峰  
井上 紀恵

平成二十六年

十四 三 千 歳

春竹 香燕  
春竹 利香

二 博多流し

松風 裕勝  
松風 裕乃

十五 久しぶり  
それですもうと

蓼 満ゆ佳  
蓼 胡満利

三 よりかかりし

長生 松代  
長生 千代栄

(唄)平成二十四年度  
(糸)平成三十年度  
十六 お前と一緒に

春竹 利央  
春竹 利保

四 二年越し

土川 きく  
土川 きく紫乃

(唄)平成二十三年度  
(糸)平成二十五年  
十七 青いガス灯

井筒 幸和  
井筒 幸一

(唄の審査・太字)

五 西の方より

扇 和稚  
扇 よし和

(唄)平成二十一年度  
(糸)平成二十七年  
十八 よさこい時雨

田村 花枝  
田村 弓路

六 梅 と 松

稲舟 妙松  
替稲舟 那寿美

平成二十年  
二十 入谷の寮  
雪はしんしん

小唄 幸三卯  
小唄 幸三希

七 移 り 香

峰村 好志藤  
峰村 好志乃

二十一 五ツ木の椿  
あの花が

長生 恭帆  
替長生 千代栄

八 お互いに

井筒 幸誠  
井筒 治幸滋

平成十六年  
二十二 別 世界

和敬 梅由  
和敬 由三郎

二部（若樹賞受賞者・太字）

令和元年度

九 緋桜菜の花  
お互いに

稲舟 那寿美  
替稲舟 一華

平成十三年  
二十三 吉三節分  
わしに逢いたくば

松峰 小玉  
松峰 照

十 木枯さん  
湯どうふ

土川 きく紫乃  
土川 きく

平成十一年

二十五 向う通るは  
人ごみ

蓼 史ま由  
替蓼 胡文雄

平成三十年  
十一 紅白の繭玉飾り  
おかぼれ

稲舟 一華  
替稲舟 那寿美

(唄)平成十年度  
(糸)平成三十年  
二十六 翁の相手

松峰 弥生乃  
替松峰 照香

平成二十七年  
十二 風神雷神

扇 和千香  
扇 和弓

二十七 うらぶれし

春竹 利香  
春竹 利保

十三 法善寺横丁

井筒 幸一  
井筒 治幸滋

平成八年  
二十八 恋慕流し

蓼 鈴緒  
替蓼 胡文雄

平成七年度

二十九 雨やどり

蓼 胡文雄  
史ま由  
低 蓼 胡鈴子

平成六年度

三十 隅写 田川 楽

蓼 胡 茂  
胡 茂和香

平成五年度

三十一 晩に忍ば 川

松 松 照  
松 松 照  
替 松 峰 弥生乃

(唄)平成五年度

(糸)平成二十七年度

三十二 酒と女

扇 扇 よし和  
和弓

当日の審査員

春竹利昭

蓼 胡満佳

松 峰 照

田村てる

■ 令和四年十二月三日(土) 午後一時開演

■ 東京証券会館ホール

(地下鉄東西線・茅場町)  
☎(三六六七)九二一〇

主催・公益 社団 法人 日本小唄連盟

<http://kouta-renmei.org>